

VI. 喫煙について（問14～問19）

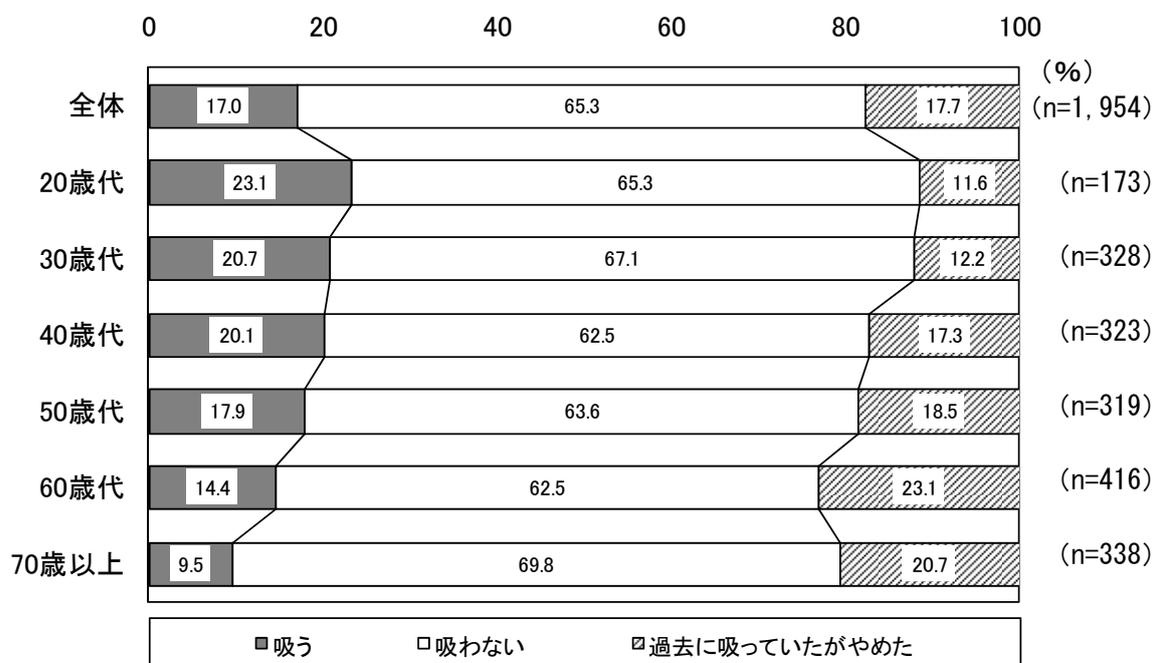
【問14】あなたはタバコを吸いますか。（n=1,954）

（1）全体的傾向

「喫煙状況」について、「タバコを吸う」と回答した人の割合（喫煙率）は約17%を占めている。最も多いのは、「吸わない」と回答した人で約65%を占めている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「タバコを吸わない」と回答した人が多く約63～70%を占めている。年代が上がるにつれ、「タバコを吸う」人の割合が低くなっている。



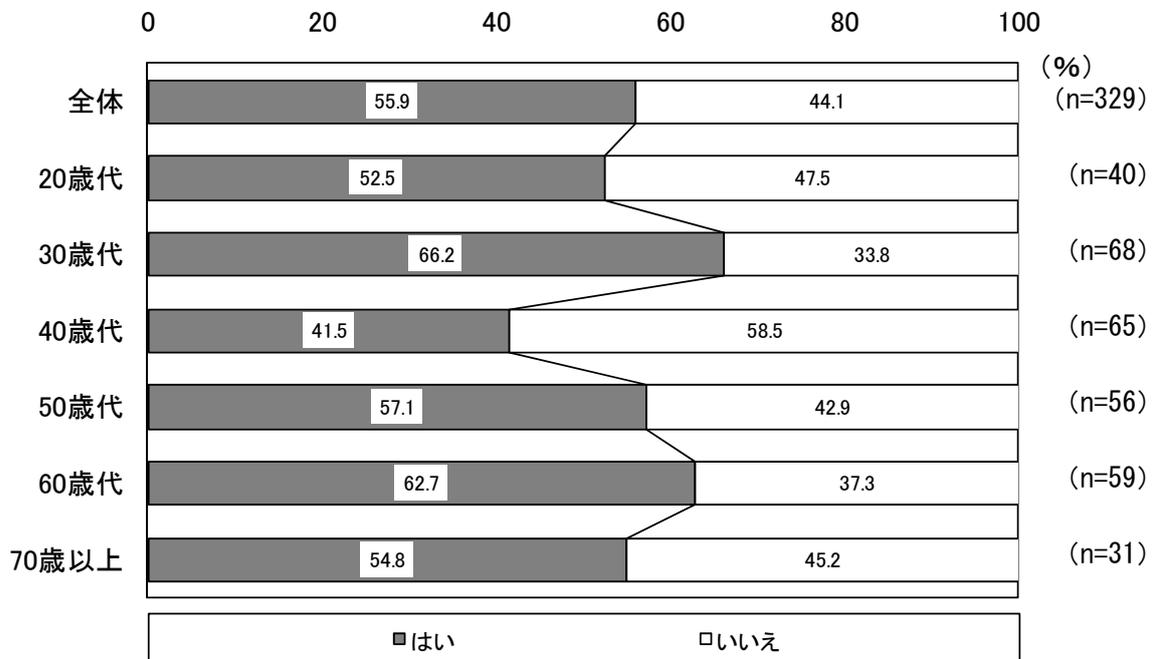
【問15】問14で「1. 吸う」と回答した方におたずねします。タバコをやめたいと思いますか。(n=329)

(1) 全体的傾向

「タバコをやめたいか」について、「はい」と回答した人は約56%を占め、「いいえ」と回答した人は約44%となっている。

(2) 年代別にみた特性

40歳代は、「いいえ」と回答した人が約59%を占めており、他の年代と比べ多くなっている。



【問16】喫煙が及ぼすタバコの害について知っているものは何ですか。(n=1,935)

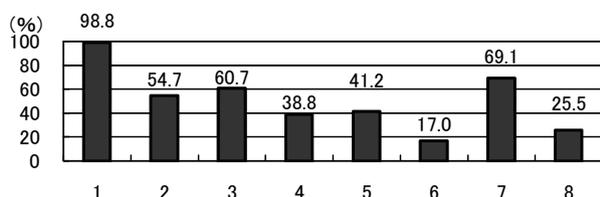
(1) 全体的傾向

「タバコが身体に及ぼす影響」について、「肺がん」と回答した人が最も多く約99%を占めている。次いで、「妊娠に関連した異常」(約70%)、「気管支炎」(約61%)、「ぜんそく」(約55%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「肺がん」と回答した人が最も多く約97%~99%を占めている。また、次いで多いのは、20歳代~50歳代では、「妊娠に関連した異常」と回答した人(約72%~88%)であるが、60歳以上では、「気管支炎」と回答した人(約60%~65%)である。

●全体(n=1,935)

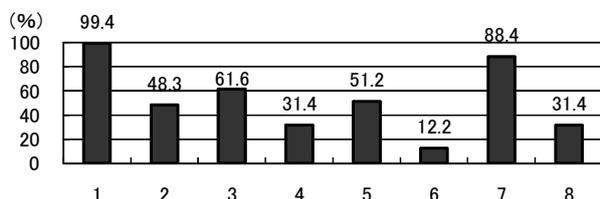


1. 肺がん
2. ぜんそく
3. 気管支炎
4. 心臓病
5. 脳卒中
6. 胃かいよう
7. 妊娠に関連した異常 (例: 流産、早産など)
8. 歯周病

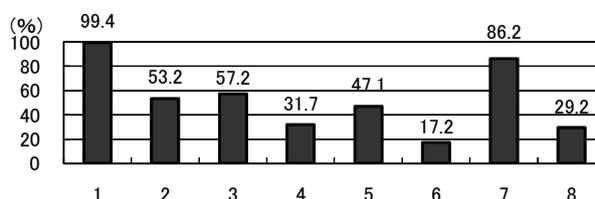
(複数回答)

●年代別

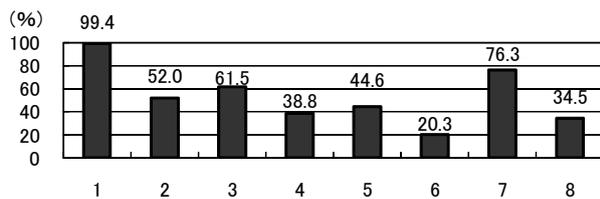
20歳代(n=172)



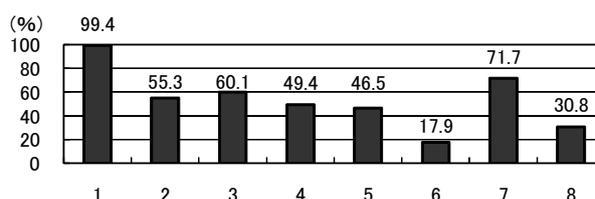
30歳代(n=325)



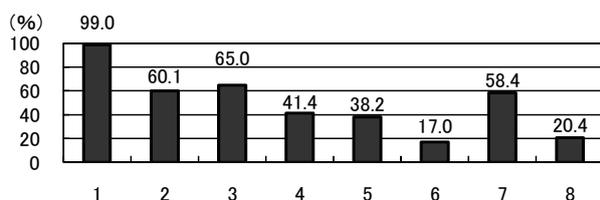
40歳代(n=325)



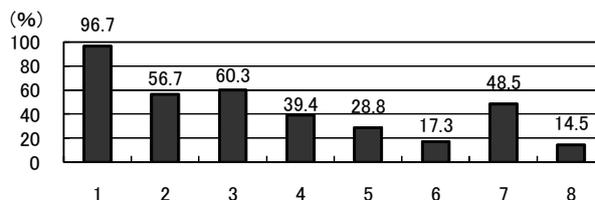
50歳代(n=318)



60歳代(n=411)



70歳以上(n=330)



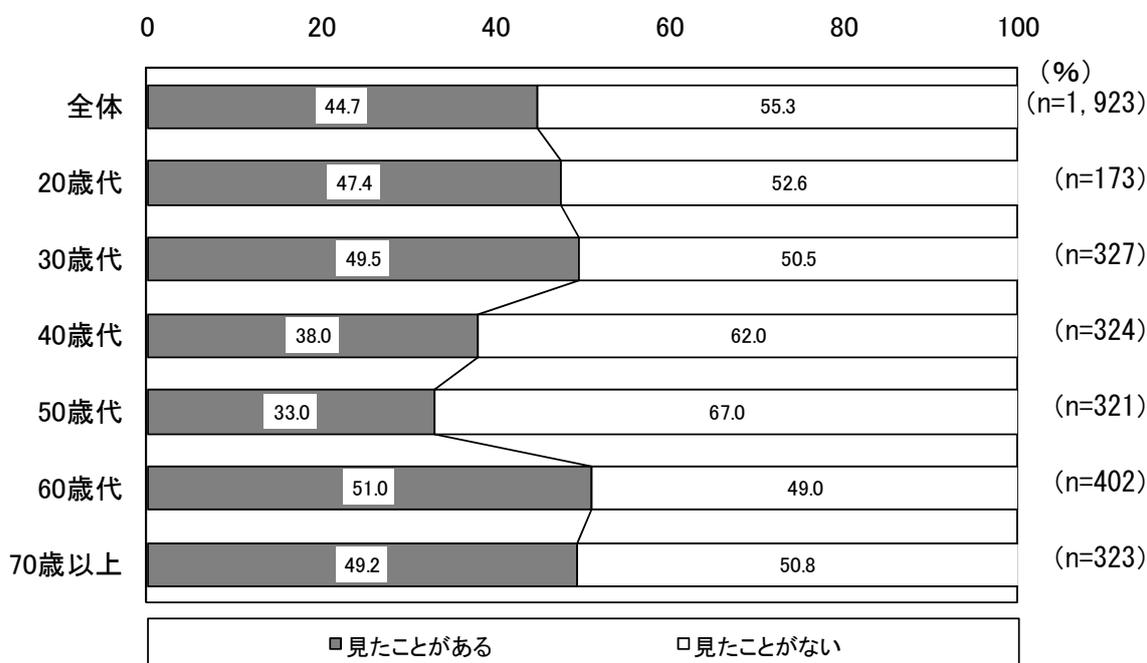
【問17】 飲食店や官公庁などの公的施設の入口などに表示してある禁煙認定証・分煙認定証を見たことがありますか。(n=1,923)

(1) 全体的傾向

「禁煙認定証・分煙認定証」について、「見たことがない」と回答した人が約55%を占めている。

(2) 年代別にみた特性

60歳代は、「見たことがある」と回答した人が約51%を占めており、最も多くなっている。一方、50歳代は、「見たことがある」と回答した人が約33%を占めており、最も少なくなっている。



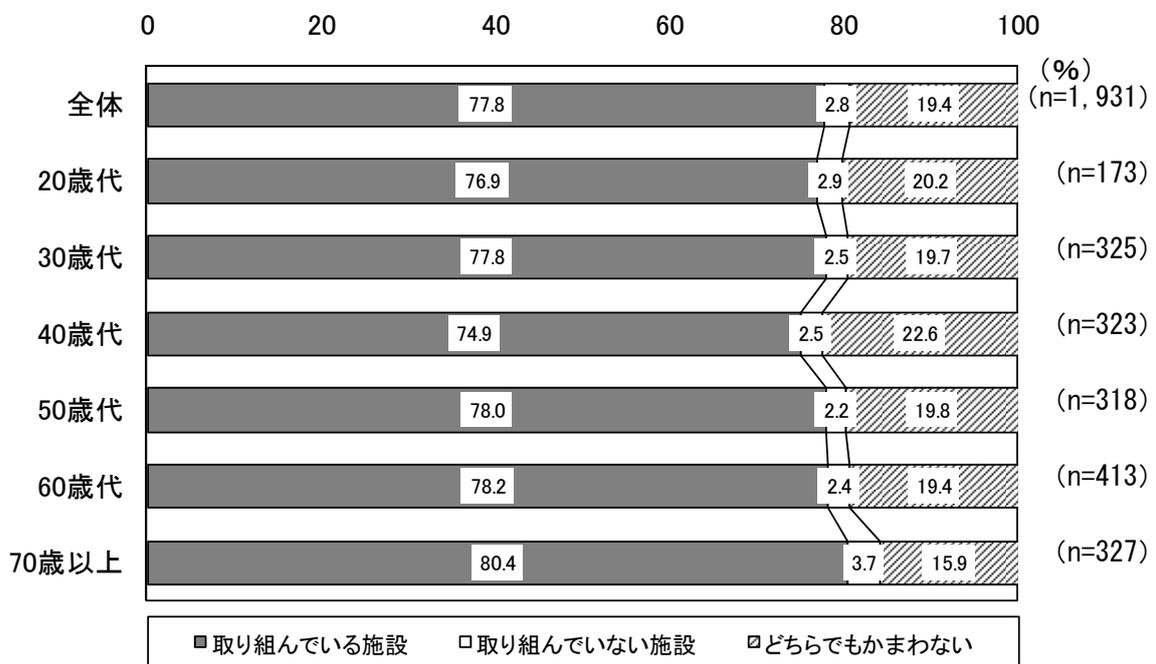
【問18】 飲食店などを利用する際に、禁煙・分煙に取り組んでいる施設と取り組んでいない施設のどちらを利用したいと思いますか。(n=1,931)

(1) 全体的傾向

「飲食店などの利用」について、「禁煙・分煙に取り組んでいる施設を利用したい」と回答した人が約78%を占めている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「禁煙・分煙に取り組んでいる施設を利用したい」と回答した人が最も多く約75%~80%を占めている。



【問19】タバコ対策で取り組んでほしいことは何ですか。(n=1,928)

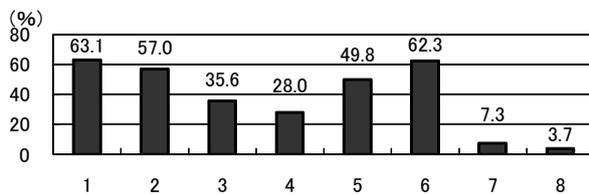
(1) 全体的傾向

「タバコ対策の取り組み」について、「公的施設の禁煙・分煙」と回答した人が最も多く約63%を占めている。次いで「タバコの投げ捨て防止」(約62%)、「飲食店の禁煙・分煙」(約57%)、「未成年者の予防教育」(約50%)となっている。一方、「特になし」と回答した人は約4%である。

(2) 年代別にみた特性

30歳代、70歳以上を除く年代は、「公的施設の禁煙・分煙」と回答した人が約62%~68%を占めており、最も多くなっているが、各年代とも、「公的施設の禁煙・分煙」、「タバコの投げ捨て防止」、「飲食店の禁煙・分煙」と回答した人の割合が5割以上を占めている。

●全体(n=1,928)

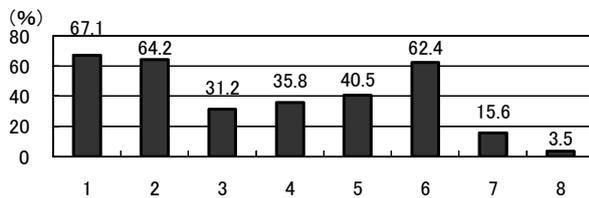


- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 公的施設の禁煙・分煙 | 2. 飲食店の禁煙・分煙 |
| 3. タバコの害についてのPR | 4. 禁煙支援 |
| 5. 未成年者の予防教育 | 6. タバコの投げ捨て防止 |
| 7. その他 | 8. 特になし |

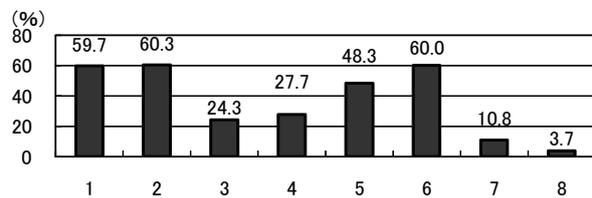
(複数回答)

●年代別

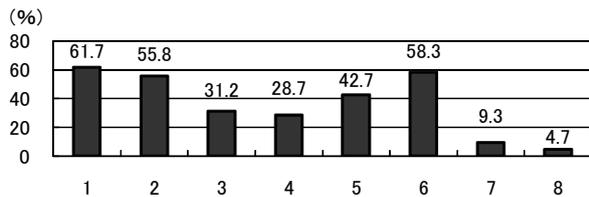
20歳代(n=173)



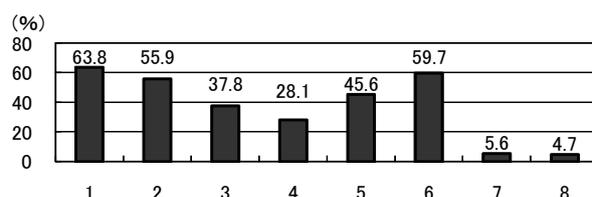
30歳代(n=325)



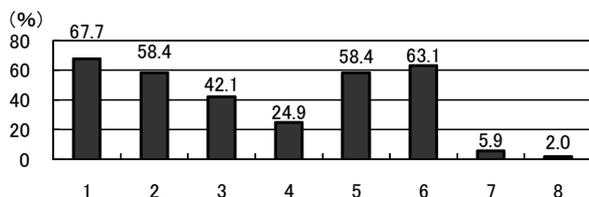
40歳代(n=321)



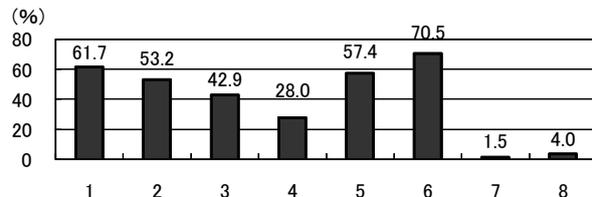
50歳代(n=320)



60歳代(n=406)



70歳以上(n=329)



【喫煙に関するまとめ】

設問 14～19 の分析をまとめると以下のとおりである。

- ① 「喫煙状況」について
 - ・ 豊橋市民の約 83%の人が「吸わない」、「過去に吸っていたがやめた」と回答している。
 - ・ 各年代とも、約 63%～70%の人が「タバコを吸わない」と回答しており、年代が上がるにつれ、「タバコを吸う」と回答した人の割合が低くなっている。
- ② 「タバコをやめたいか」について
 - ・ 豊橋市民のタバコを吸う内の約 56%の人が「はい」と回答している。
 - ・ 40 歳代は、約 59%の人が「いいえ」と回答しており、他の年代と比べ、多くなっている。
- ③ 「タバコが身体に及ぼす影響」について
 - ・ 豊橋市民の約 99%の人が「肺がん」と回答している。
 - ・ 各年代とも、「肺がん」と回答した人が最も多く、次いで多いのは、20 歳代～50 歳代では、「妊娠に関連した異常」と回答した人（約 72%～88%）であるが、60 歳以上は、「気管支炎」と回答した人（約 60%～65%）である。
- ④ 「禁煙認定証・分煙認定証」について
 - ・ 豊橋市民の約 55%の人が「見たことがない」と回答している。
 - ・ 「見たことがある」と回答した人が最も多いのは、60 歳代で、約 51%である。最も少ないのは、50 歳代で、約 33%である。
- ⑤ 「飲食店などの利用」について
 - ・ 豊橋市民の約 78%の人が「禁煙・分煙に取り組んでいる施設を利用したい」と回答している。
 - ・ 各年代とも、約 75%～80%の人が「禁煙・分煙に取り組んでいる施設を利用したい」と回答している。
- ⑥ 「タバコ対策の取り組み」について
 - ・ 豊橋市民は、タバコ対策の取り組みについて、「公的施設の禁煙・分煙」と回答した人が約 63%と最も多く、次いで「タバコの投げ捨て防止」（約 62%）、「飲食店の禁煙・分煙」（約 57%）、「未成年者の予防教育」（約 50%）の順で取り組みを望んでいる。